

千葉商工会議所景気動向調査

令和3年5月調査結果

令和3年6月

千葉商工会議所

千葉商工会議所景気動向調査

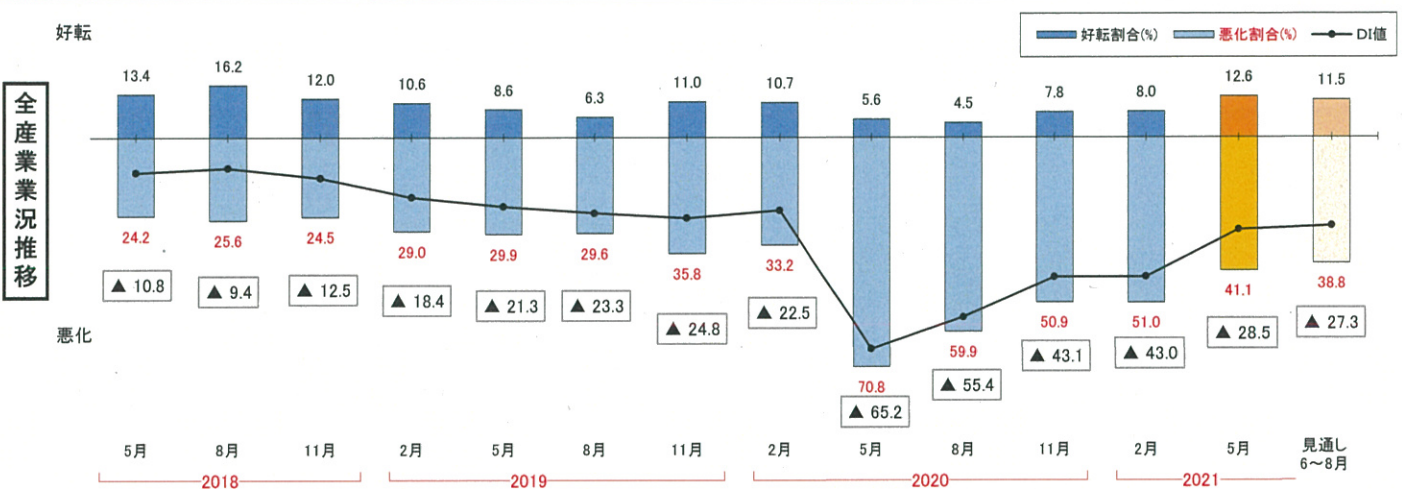
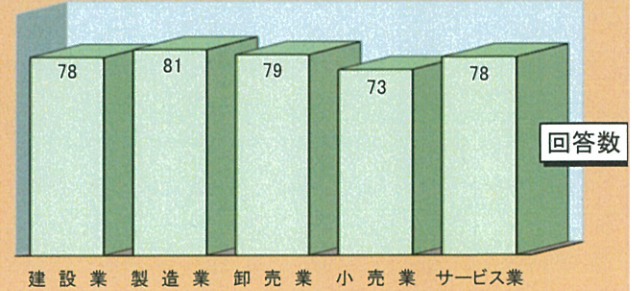
……令和3年5月調査結果報告……

調査期間：令和3年5月11日(火)～5月26日(水)

調査対象：千葉商工会議所法人会員事業所 500社
(回答 389社 回答率 77.8%)

DI値(景気動向指数)とは、売上・採算・業況などの項目についての判断の状況を表す。ゼロを基準としてプラスの値で景気の上向き傾向を表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。
従って、売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、強気・弱気などの景況感の相対的な広がり意味着。

DI値：(増加・好転などの回答割合)－(減少・悪化などの回答割合)



【全体の特徴】

(▲はマイナス)

業況DI(前年同月比ベース、以下同じ)を見ると、前回調査(令和3年2月、以下同じ)と比較して、建設業が下降し、製造業、卸売業、小売業、サービス業が上昇した結果、全産業合計DIは14.5ポイント上昇して▲28.5となり、4期連続の改善となった。

また、向こう3ヶ月(6月～8月、以下同じ)の先行き見通しは、建設業、小売業が下降し、製造業、卸売業、サービス業が上昇する見込みとなっており、全産業合計DIは現状より1.2ポイント上昇の▲27.3となっている。

売上DIでは、前回調査と比較して、全産業が上昇した結果、全産業合計DIは20.7ポイント上昇して▲25.7となり、2期ぶりの改善となった。

採算DIでは、前回調査と比較して、全産業が上昇した結果、全産業合計DIは18.8ポイント上昇して▲24.2となり、2期ぶりの改善となった。

仕入単価DIでは、前回調査と比較して、全産業が下降した結果、全産業合計DIは▲39.5となり、3期ぶりの悪化となった。

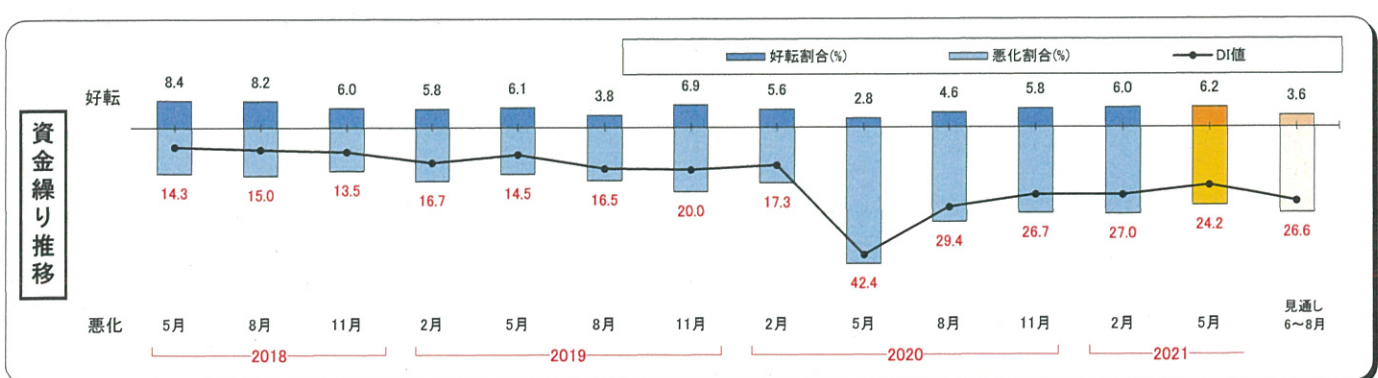
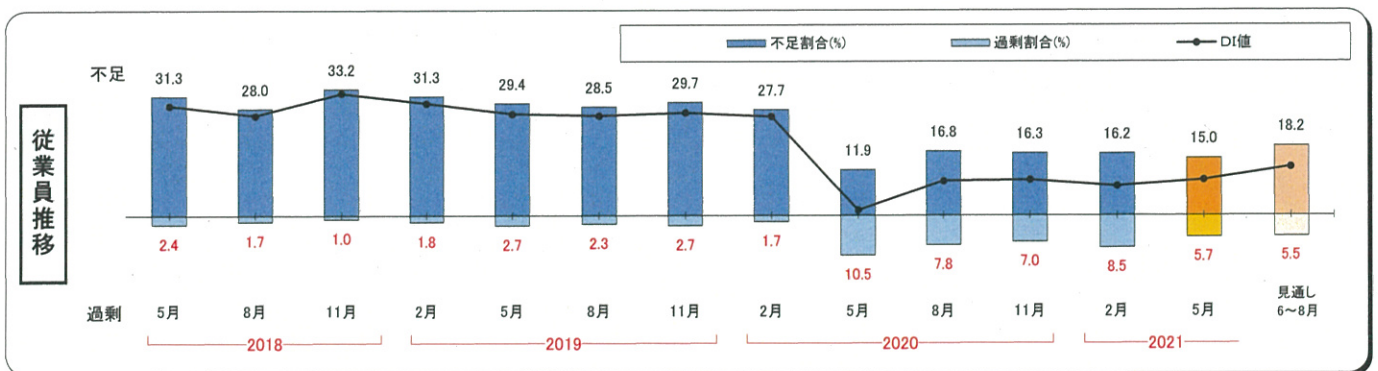
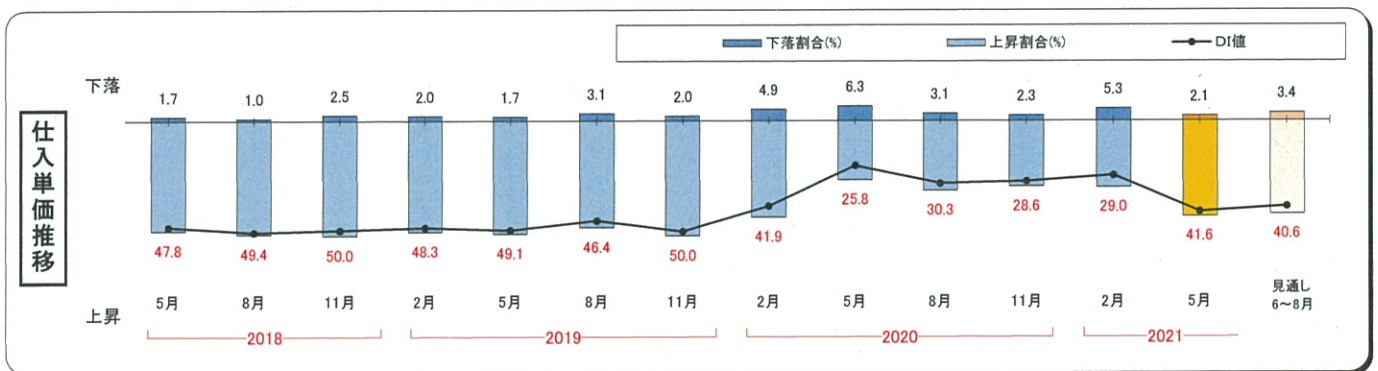
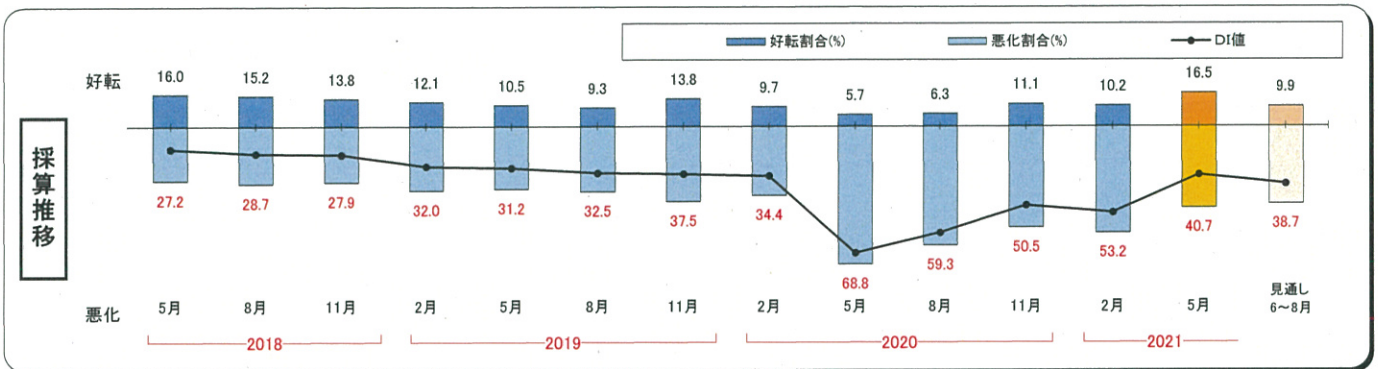
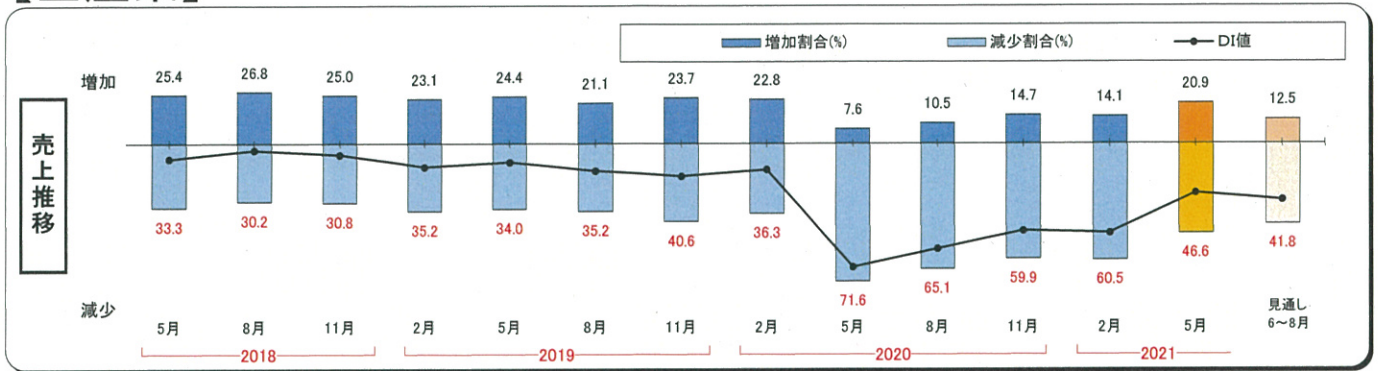
従業員DIでは、前回調査と比較して、サービス業が下降し、小売業が上昇、建設業、製造業、卸売業が横ばいとなった結果、全産業合計DIは9.3となり、2期ぶりの上昇となった。

資金繰りDIでは、前回調査と比較して、建設業が下降し、製造業、卸売業、サービス業が上昇、小売業が横ばいとなった結果、全産業合計DIは▲18.0となり、2期ぶりの改善となった。

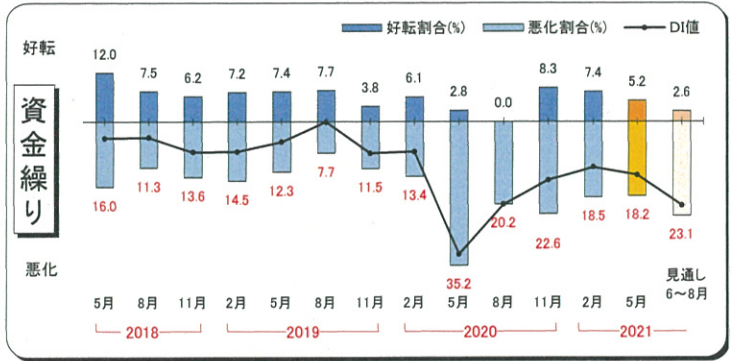
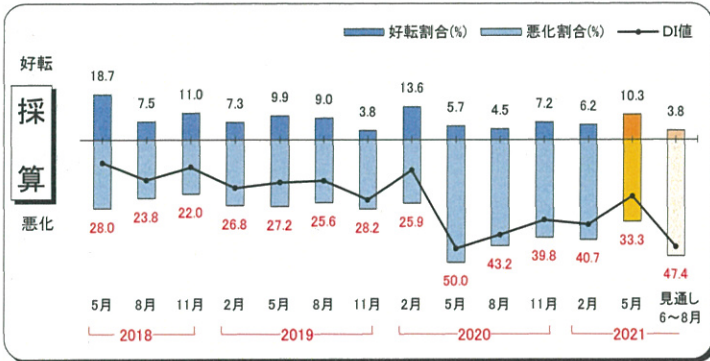
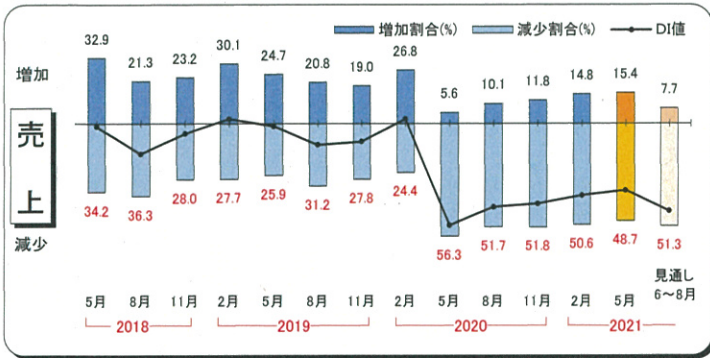
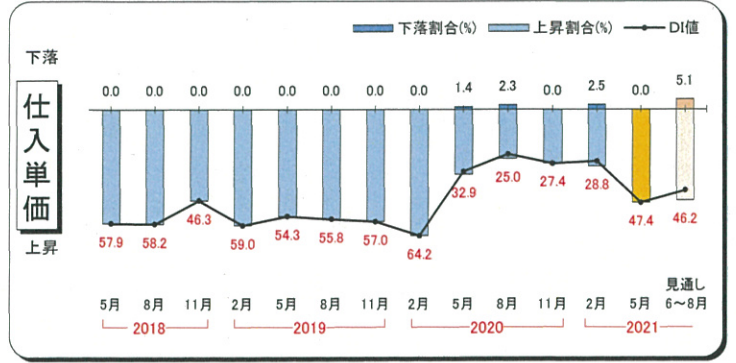
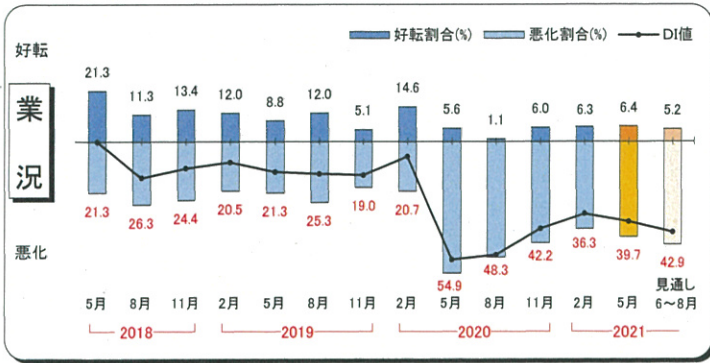
【調査結果のポイント】

- ・業況DIは回復基調にあるものの、厳しい状況が続いている
- ・新型コロナウイルスによりマイナスの影響が生じている企業は6割と依然として高水準となった
- ・令和2年5月調査と比較すると「採用を行わない企業」が増加しており、採用活動に慎重な姿勢が見られる

【全産業】



【建設業】①

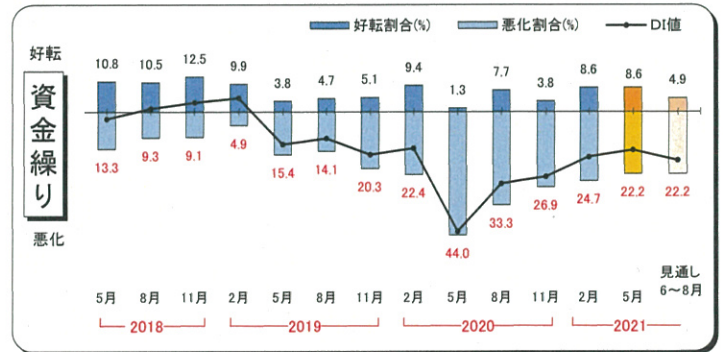
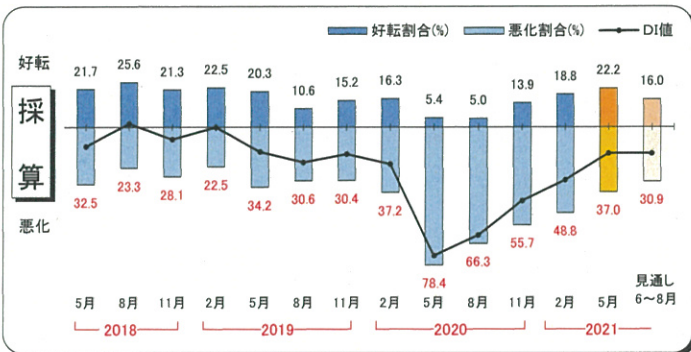
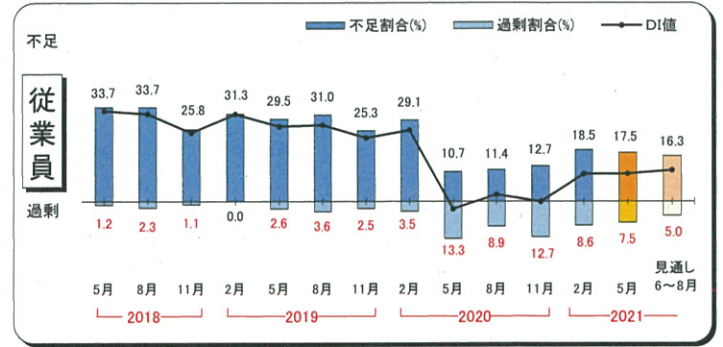
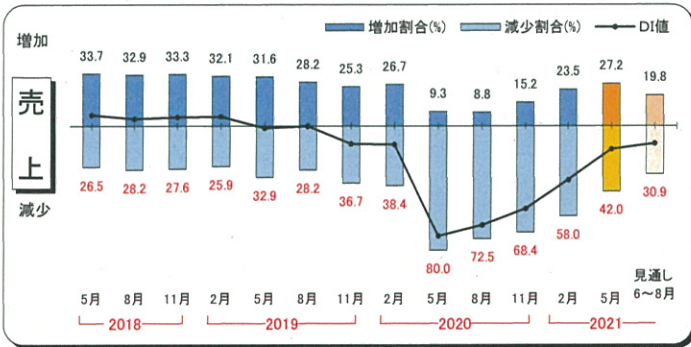
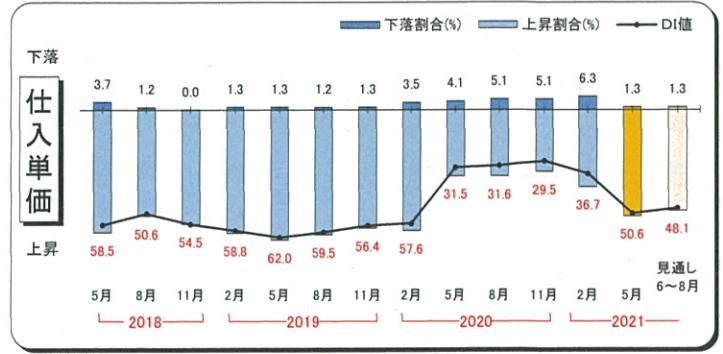
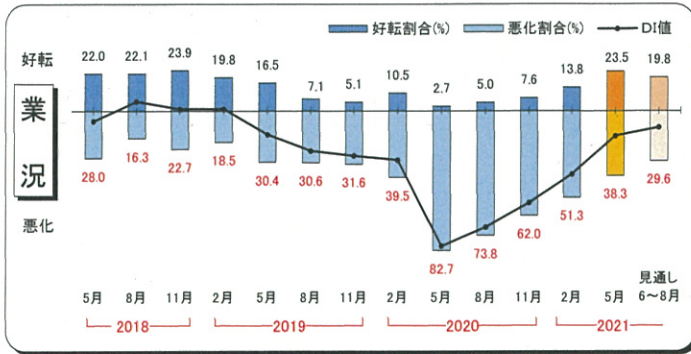


【建設業】②

企業の声（日本標準産業分類順）

<p>土木建築工事業</p>	<p>新型コロナウイルスの流行によってオンラインの事務処理が多くなり、客先へ交通手段を利用せずに書面での処理が可能になり便利になった。しかし事業者としては、日々が進む事に、社会で仕事、友人と疎遠になることが良いことなのか疑問に感じられる。営業担当的にも、心のこもった接客が相手に通じず困っている。このような状況がいつまで続くか分からないが、今の状況が決して良いとは思わない。私たちの仕事は、機械・パソコンだけではできないため、これから先、高齢の経営者はついていくことができなくなりそうである。オンラインで業務が済む書類は、継続しても良いが、この状況が良い方向へ動くことを希望する。官公庁の書類は毎年増えるばかりで大変である。何とかして欲しい。</p>
<p>職別工事業 (設備工事業を除く)</p>	<p>公共投資の拡大、促進を希望する。</p>
<p>とび工事業</p>	<p>コロナ禍での商売が不安定になり、工事が延期になったり、急遽工事が飛び込んできたりと人員配置に戸惑いが生じている。当然資金繰りにも影響がでており不安定で、受注を県外にまで延ばさないとやっていけない状況である。労働力の確保のためにハローワークに求人募集を出しているものの、未だ連絡無し。外国人を採用するにも手続き等で面倒な部分があり、踏み込めていない。飲食業界と比較するとまだマシな方かもしれないが、それでも商売が苦しいことには間違いない。まずはワクチン接種を急がせ、経済全体を活性化させないと、いつ息詰まるか怯えながらの展開になるのではないか。</p>
<p>管工事業</p>	<p>ワクチン接種の迅速化を希望する。</p>

【製造業】①

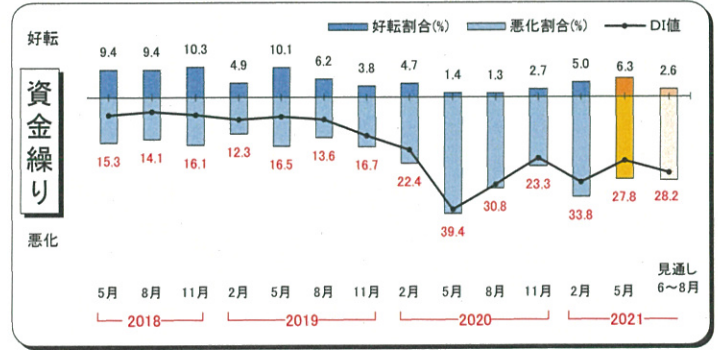
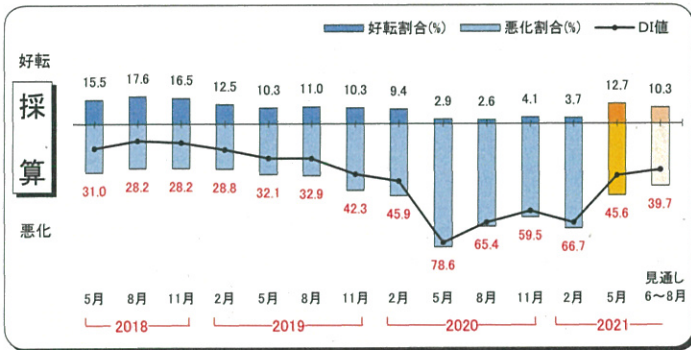
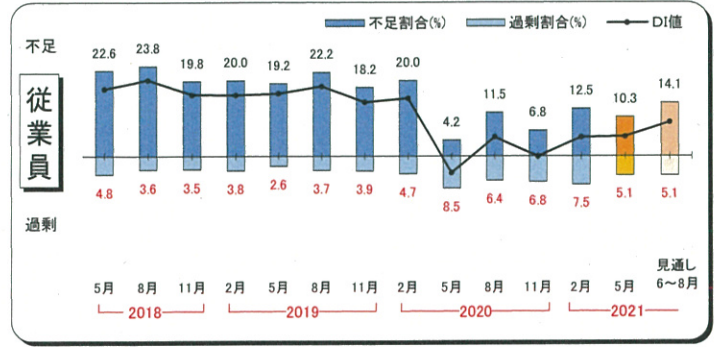
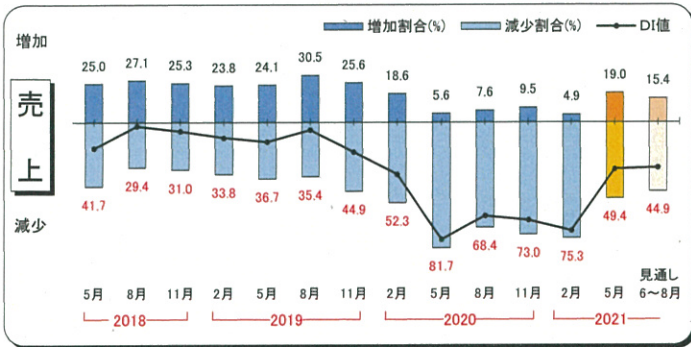
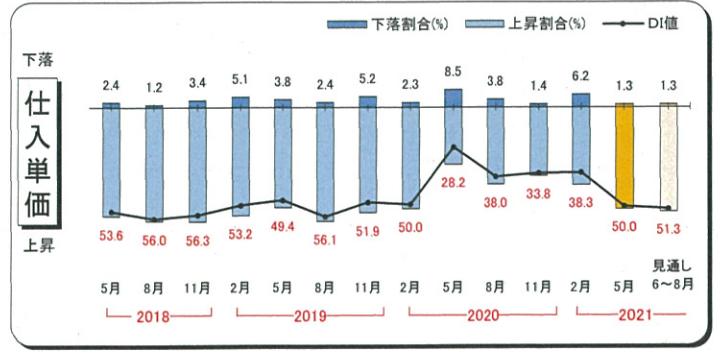
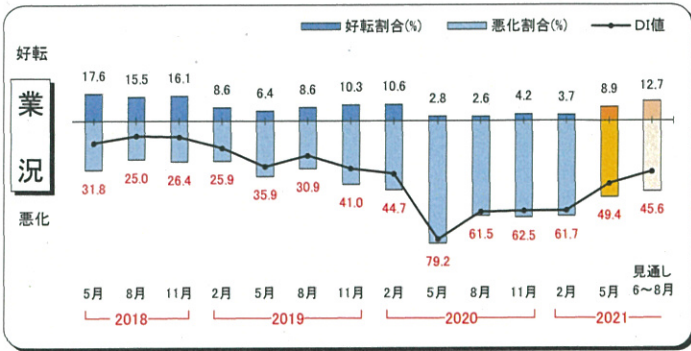


【製造業】②

企業の声（日本標準産業分類順）

パン製造業	コロナワクチン接種が粛々と進むよう、ご尽力願いたい。
繊維製品製造業	県庁・市役所も、入札物件を地元優先でお願いしたい。
木製家具製造業	1年以上にわたるコロナに対する無策ぶりにはほとんど呆れている。ドイツでは売上の75%補償しているとのこと。オリンピックどころかロックダウンおよび給付金をお願いしたい。
オフセット印刷業（紙に対するもの）	消費税を廃止してほしい。
化学工業製品製造業	産業支援の取組をもっと積極的に作り、企業に発信して欲しい。また、BtoBのマッチングサイト等を構築、または現在あるものをさらに使いやすくして欲しい。
プラスチック成形材料製造業	障害者雇用における、社内設備支出への補助金をお願いしたい。
コンクリート製品製造業	各企業で実施しているテレワークの状況調査と指導、飲食業の時短営業の緩和（酒提供は現状維持、営業時間22時まで延長など）、ワクチン投与時期の周知、景気回復のため公共事業の発注量増加を希望する。
製缶板金業	プラスの影響が出ている企業にも支援が欲しい（人材斡旋等）。
建設機械・鉱山機械製造業	経済を活性化させるためには、ワクチン接種の順調な供給、医療支援体制の更なる拡充、入国規制措置の厳格化等が機能すれば、人の流れ・動きが今より、より良いものになるのではないだろうか。そこに期待したいところである。
集積回路製造業	あまり補助金制度はしない方が良くと思う。困っている人ばかり報道しているが、今の報道はおかしいと思う。大変な時、知恵を出して乗り切る力が無い商店・企業は、国から資金が出ても返済できないと思う。
電力開閉装置製造業	中小企業に対する効果的な支援を考えて欲しい。
娯楽用具・がん具製造業（人形を除く）	コロナ助成の判断基準は全て「昨年対比」が基準のため、起業して間もない会社では、数字上では「売上げが伸びている」との判断となり、様々な助成が適用外とされてしまう。スピンアウト企業のため、売上は垂直に伸びる想定だったが、ジェットコースター状態で上下している。安定期まで至っていない、起業3年目までの企業に向けた助成の判定基準は、昨年同月比ではなく、直近半年、あるいは3か月の状況を鑑みた柔軟な判断を希望する。コロナ禍により、将来性のある企業が低空飛行になっている状況を抜け出せるような施策が必要だと思う。中国に負けてしまう。

【卸売業】①

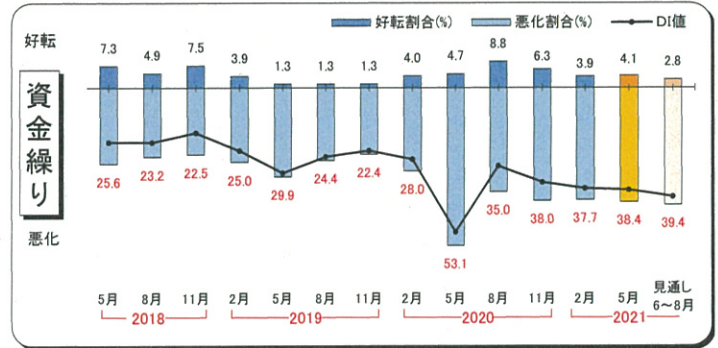
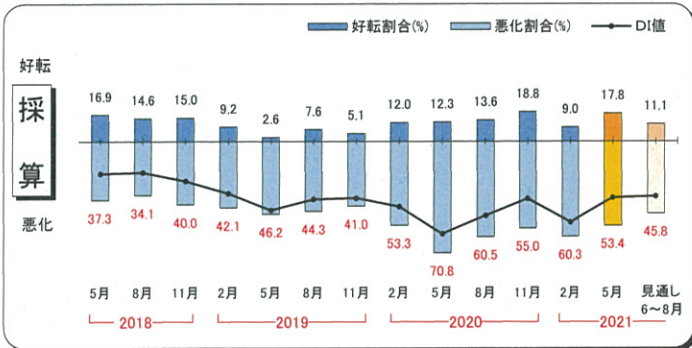
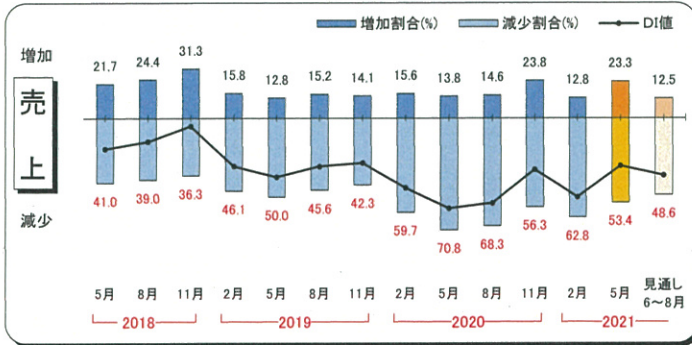
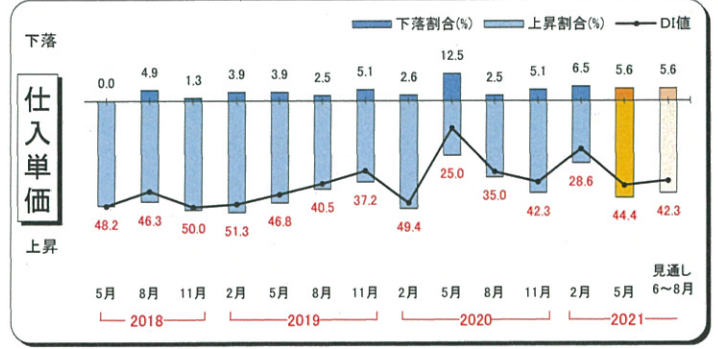
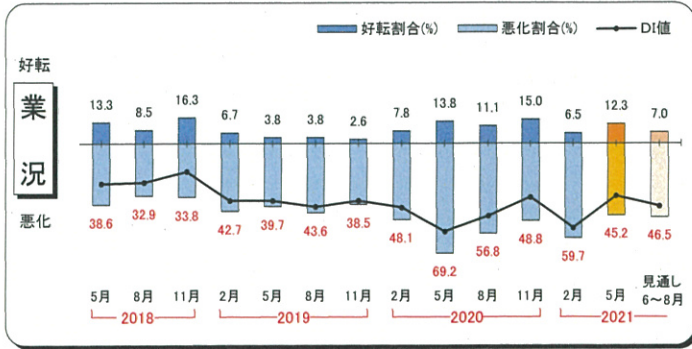


【卸売業】②

企業の声（日本標準産業分類順）

米麦卸売業	政府が講じた全ての対策は遅いだけではなく、常に不公平感がつきまとう。国が「万全の対策」と言ってオリンピック開催を強行するのならば、「万全の対策」をとっている飲食店の営業を認めないのはおかしいのではないか。国民にだけ我慢を押し付けるのはもうやめて欲しい。もう一度日本人であることを誇りに思わせて欲しい。
雑穀・豆類卸売業	現在も、まん延防止等重点措置で売上が伸びていない。苦しい状況。
野菜卸売業	得意先に外食関係が多いため売上が減少。しかし 50%以下にならず給付金が貰えないため経営が苦しい状況である。どうか給付金を支給して欲しい。
野菜卸売業	飲食店取引業者への支援金を増額して欲しい。
乾物卸売業	営業時間短縮やお酒の提供禁止を要請するのなら、それに見合った持続的な協力金の支給をして欲しい。もしくは、ヒトからヒトへの感染を広げずに、まっとうな経済活動が出来る方法を広く宣伝して欲しい。飲食店での宴会禁止などは感染を広げない為の「手段」であって、「目的」では無い筈だから。
食料・飲料卸売業	一部業界のみの支援にうんざりしている。広く、国民全体への支援や消費税減税をお願いしたい。
建築材料卸売業	今年度もセーフティネット保証等の融資の追加を希望する。
鉄鋼製品卸売業	中小企業や小規模事業者をはじめとして、人手不足が深刻化しており、介護や建設現場など特定の分野では特に深刻である。
空瓶・空缶等空容器卸売業	補助金ではなく税金を。
非鉄金属スクラップ卸売業	株、商品すべてコロナバブルで上昇。現状の金融緩和が続く限り止まりそうにない。
再生資源卸売業	落ち着いて行動する。
建設機械・鉱山機械卸売業	1日も早く県民全員にワクチン接種を行って欲しい。新型コロナウイルス感染拡大防止対策協力金の支給方法を、再検討する必要がある（売上の大小で格差をつけるなど平等に）。
その他の産業機械器具卸売業	公共施設を増加すること。
陶磁器・ガラス器卸売業	コロナの終息を願う。
医薬品卸売業	ワクチン接種を早めにしてほしい。

【小売業】①

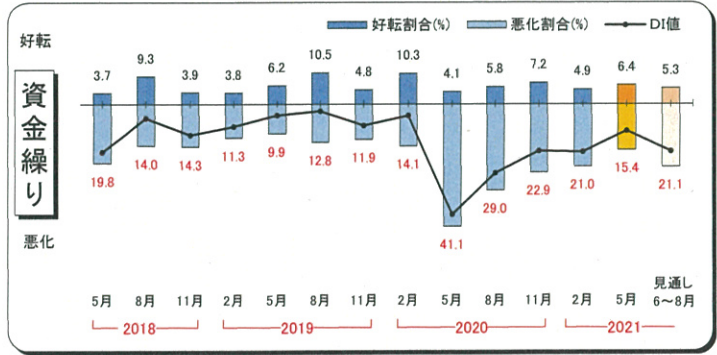
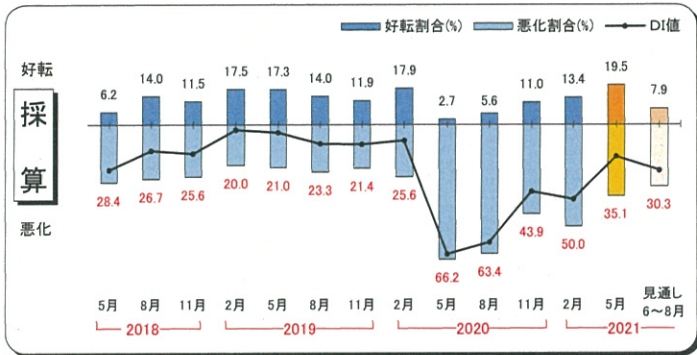
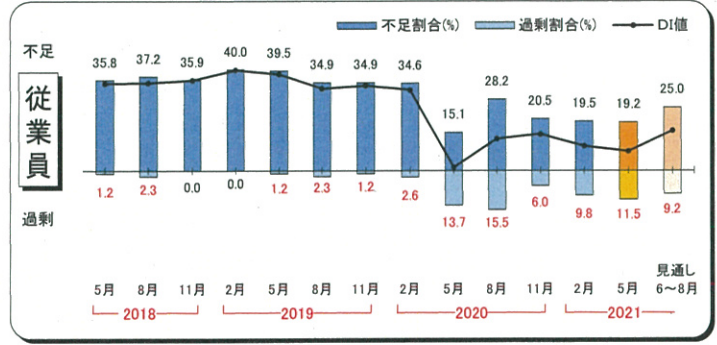
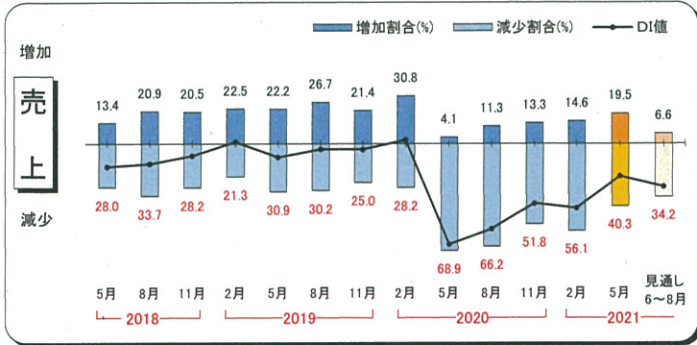
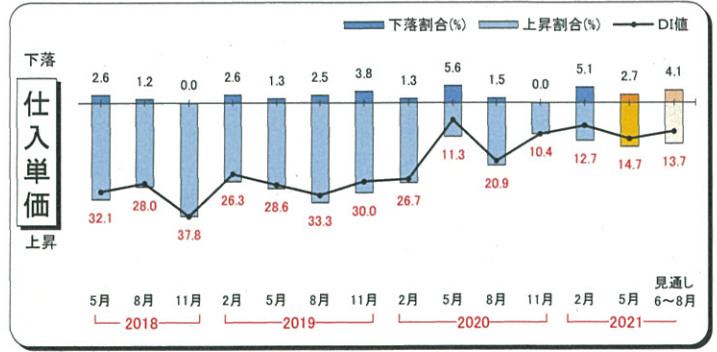
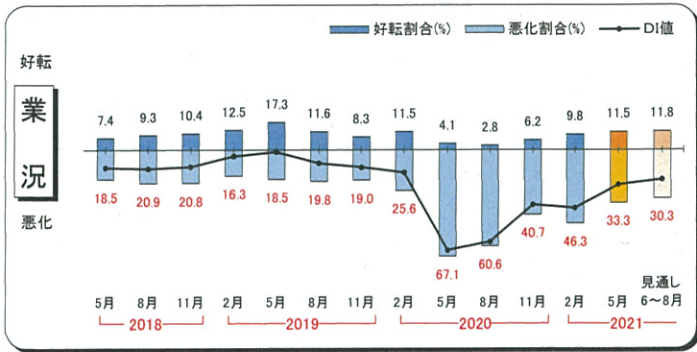


【小売業】②

企業の声（日本標準産業分類順）

百貨店・総合スーパー	小売業も営業時間短縮などの規制を検討して欲しい。早朝・夜間の営業時間の短縮など強い規制をして欲しい。
百貨店・総合スーパー	早めの要請内容の明示（少なくとも方向性だけでも）、平等な要請基準を希望。
百貨店・総合スーパー	「東京2020」の実施有無については賛否両論あると思うが、いずれにせよ、なるべく早めの決断をしていただき、我々も今後の対応について検討していきたい。
呉服・服地小売業	ワクチン接種を最優先にして欲しい。ワクチン接種を行えば従来の生活様式に戻り、消費者の動きも正常に戻ると思う。また、経済状況も好転し無駄な補助金を使うことが無くなると思う。
婦人服小売業	本年度（特に4月・5月）、急に落ち込みが厳しい。支援金を活用したいが、内容が分からない。
靴小売業	ワクチン接種を急いで欲しい。
靴小売業	コロナ禍での千葉県プレミアム付商品券を、地域経済活性化のために発行して欲しい（客足が戻りにくい状態が続くため）。
洋品雑貨・小間物小売業	早い対応をお願いしたい。
各種食料品小売業	飲み屋には1日6万円もの支援金が出ているのに、他の業種の企業である当店は対象外である。同じ業種でも取引先（消費者向け、イベント業者向け等）の異なる企業があることを理解し、弁当屋にも個人相手の店と、当店のようイベント等に弁当をお届けする店があることを理解していただき、イベント業者に対する支援金を、同じようにもらえるようにご配慮をお願いしたい。
各種食料品小売業	慢性的に人員不足。
自動車（新車）小売業	ワクチンを早く進めてほしい。
自動車（新車）小売業	千葉県や千葉市からは、明確な目標や方針を提示してコロナ対策自粛や協力の依頼があり、その影響を受ける飲食業への協力をするべく、昼食時や夕食時に感染対策を行って社内でも黙食の指導をしている。しかし、国の方向性が不安定であり、意義が伝わらない形での政策により皆が困惑している。しっかりとした道筋を固めて欲しい。
中古自動車小売業	何も期待出来ない。本当の現況を見ていない。大企業と中小では同じ業種でも天と地の差があるのに一括りにされても困る。
自動車部分品・附属品小売業	給付金、補助金、助成金、全てが分かり辛く、対象か否かも分からない。手続きも面倒極まりない。日頃、自身の業務をこなしながら、補助金申請内容を把握し、必要な書類を準備し、申請することは困難である。分かり易く、簡単にしたい。
二輪自動車小売業	オートバイ販売業であるが、メーカーから車輦が入ってこない。50ccの最も売れるモデルですら2ヶ月に1台のみ。125ccから250ccクラスであると各モデル年間3台程度しか割り当てられない。付随して中古車も入らず慢性的にタマ不足。新車の値引きはほとんどしなくても売れるため、1台あたりの利幅は増えたが数が圧倒的に足りずこのままでいくと年内に運転資金がショート。実質無利子の融資も出遅れて申し込んだため審査が厳しく借りられない。
電気機械器具小売業（中古品を除く）	緊急事態宣言延長によりかなり苦しくなっている。飲食以外の企業への給付金対策をお願いしたい。飲食店も個人経営は逆にコロナバブルになっている。中小企業は苦しい。
その他の機械器具小売業	3年間の無利子無担保融資は、コロナ後に業績が回復できるならばよいが、アフターコロナでダメージを受ける企業は返済に窮するのではないか。
家具小売業	消費税を5%に、昨年実施の持続化給付金の復活を望む。
ドラッグストア	新型コロナ向けワクチン接種のスピードを上げて、感染防止対策を進めてもらいたい。また、個人向けの需要が悪化しており、改善の対策をお願いしたい。
医薬品小売業	助成金の何を活用できるのか分からない。当てはまるものが分からない。
調剤薬局	コロナワクチンをできるだけ早く終わらせる。
ガソリンスタンド	当面の間、コロナの影響による業績悪化が続く見通しのため消費税免除等、実施して欲しい。
スポーツ用品小売業	再度の持続化給付金をお願いしたい。
建築材料小売業	IT導入補助金の利便性の向上。
他に分類されないその他の小売業	自主的に時短営業を継続しているが、売上が大きく減少していないため、補助金が活用できない。

【サービス業】①



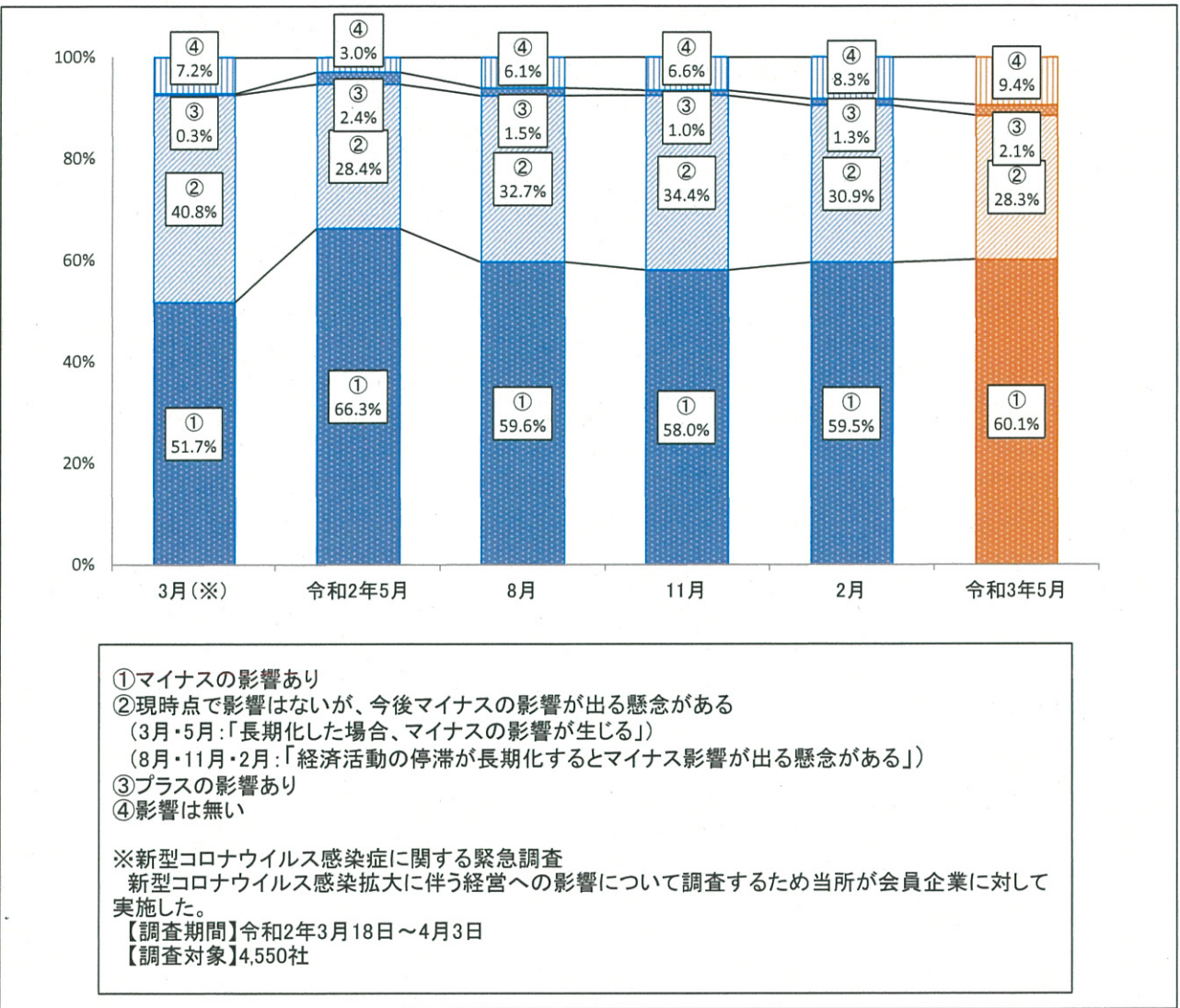
【サービス業】②

企業の声（日本標準産業分類順）

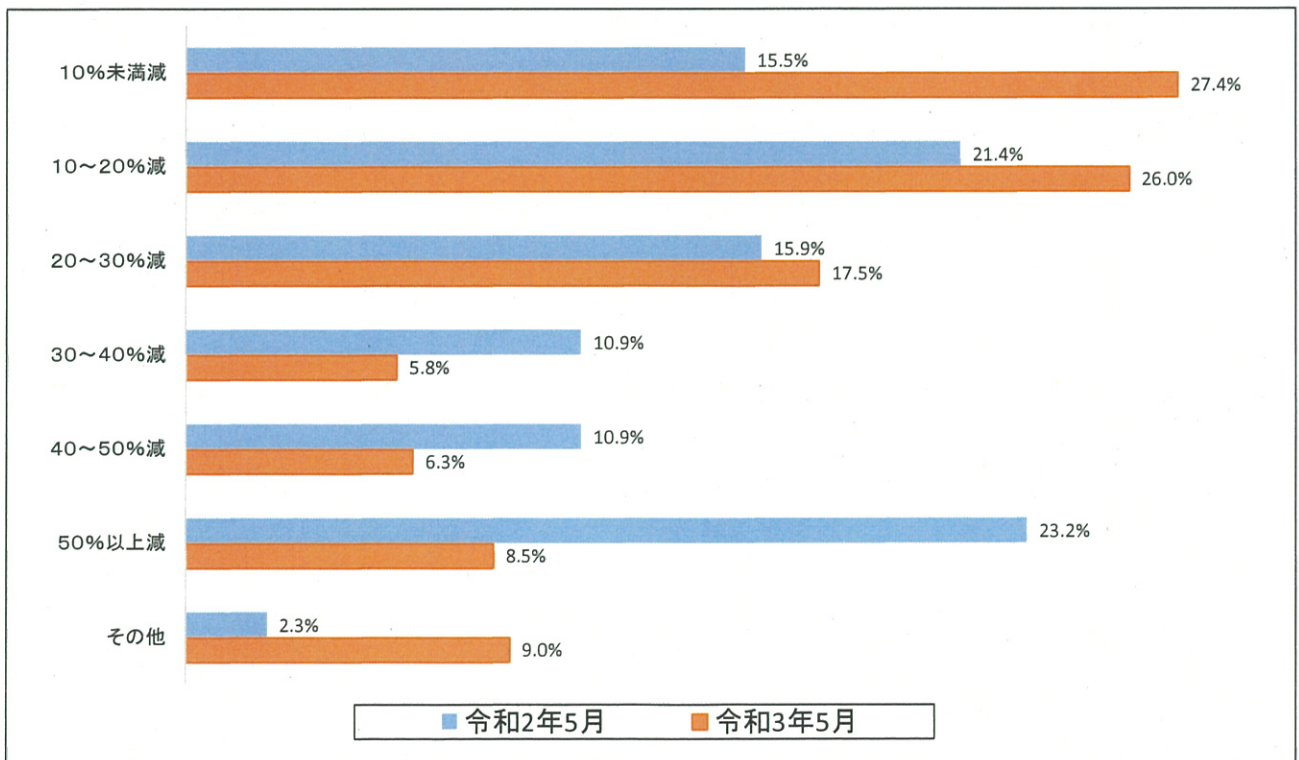
受託開発ソフトウェア業	適切な対策及び、助成金、補助金の期間延長や増額を強く希望する。
受託開発ソフトウェア業	税負担を軽減して欲しい。
情報処理サービス業	無利子無保証での資金支援を拡張してほしい。
倉庫業 (冷蔵倉庫業を除く)	会計基準の統一を希望。
運輸附帯サービス業	変異株の感染拡大により、日本経済の変動について報道がされている。また、業種間の支援格差に不満が生まれている。当社も多少影響は受けつつあるが、幸いにも大きな変動は受けてはいない。今後、経済活動鈍化による影響が如何なるか懸念されているが、人手不足による作業支障の影響は少ない。求職者が若干増えている背景を表している。新規設備投資等については控えている。現状維持のために、管理のタイミングの期間延長や、経費削減に努めている。ワクチン接種の対応と感染の抑止に大きく期待している。
貸事務所業	貸しビル業であるがテナントに飲食店が多く、今はそのテナントが休業を余儀なくされている。昨年千葉市で行ったテナント支援協力金を今年も行って欲しい。
貸事務所業	コロナ対策で繁華街での路上飲み・飲食・騒ぎなどを抑制させるために、お願い程度ではなく、顔は映さなくてもいいと思うが放映して注意を促すなどの対策をお願いしたい。色々な団体が直接注意していくことができれば良いが、3密やストレスが溜まっている時、注意した時の危険性を考えると難しいと思う。警察官による見回りや警察官OBに特別任務を委嘱して見回り強化をお願いしたい。
貸事務所業	消費税を撤廃してほしい。国民が疲弊している状況は、政治家が是正するしか方法がない。それを自覚してほしい。
不動産賃貸業	新型コロナウイルスのワクチン、国内での「開発」の遅れ、臨床試験（治験）に国との「協議」の遅れから「供給」の遅れ、それら日数の経つごとに国内での必要な治験者の数が減ってしまう…というシナリオが生まれるのではないかと。
物品賃貸業	飲食店を一律にコロナ対象とするのではなくしっかりと感染対策されている店舗との切り分けは絶対に行うべきである。山梨モデルと言われているが、実際に行政と飲食組合が協力し合い成果を出している地域を見習うべき。何の保証もなくゴールも見えない施策では意味が無いと感じている。未曾有の有事の時にしっかりとした指針は示すべき。
建設設計業	設計業務の委託契約に保証金を要求しているが、無くすことはできないか。また、できないとすれば、請負契約とすべきだと思う。委託契約と請負契約の違いが同一視されていると感じる。
建築設計業	今のところコロナの影響もなく、普通以上に売上が増加しているが、営業努力による面がかなりある。これが持続できるかは誠に不透明なところがある。
機械設計業	当社は船用機器の設計（ノウハウ含む）・製作（国内外注）・販売は県外及び海外に展開している。コロナ禍の影響を受け、2020年2月以降現地（ジャカルタ）に行けず、相手国との覚書が交わせず作業は中止状態。
機械設計業	具体的な対策として、何をどうすれば等々の細部にわたっての指針がほぼない。政治家・公務員・対岸の火事のような捉え方では、このまま堂々巡りではないだろうか。
旅館・ホテル	5月31日までで、「まん延防止等重点措置」を解除して貰わなければこの先の経営は極めて厳しい。更に東京五輪についても最低無観客でもいいので開催して頂かなければ死活問題になる。マスクが視聴率の為に感染拡大、不安を煽っているが、ワクチン接種の進捗に順じて今回のコロナ騒動も収束に向かうことを願っている。
食堂・レストラン	コロナワクチン接種は、全国一律高齢者からではなく、感染拡大、感染者が多い都市部から接種してはどうかと思う。地方の、あまり感染者数が少なく医療のひっ迫していない地域より、まずは感染拡大をおさえるために緊急事態宣言地域を優先すべきだと思う。今のままではいつになっても経済が回っていかないと思う。
専門料理店	出来る限り経済活動を阻害しない形での感染防止対策を取って頂きたい。
普通洗濯業	昨年と比較しても意味がないため、一昨年以前と比較すべきと思う。また、消費税・法人税などを納税しているため、こういう時こそ公務員の給与やボーナス減らしても、我々小企業に支援金が必要だと思う。
その他の自動車整備業	感染拡大防止並びに景気対策をお願いしたい。

付帯調査結果

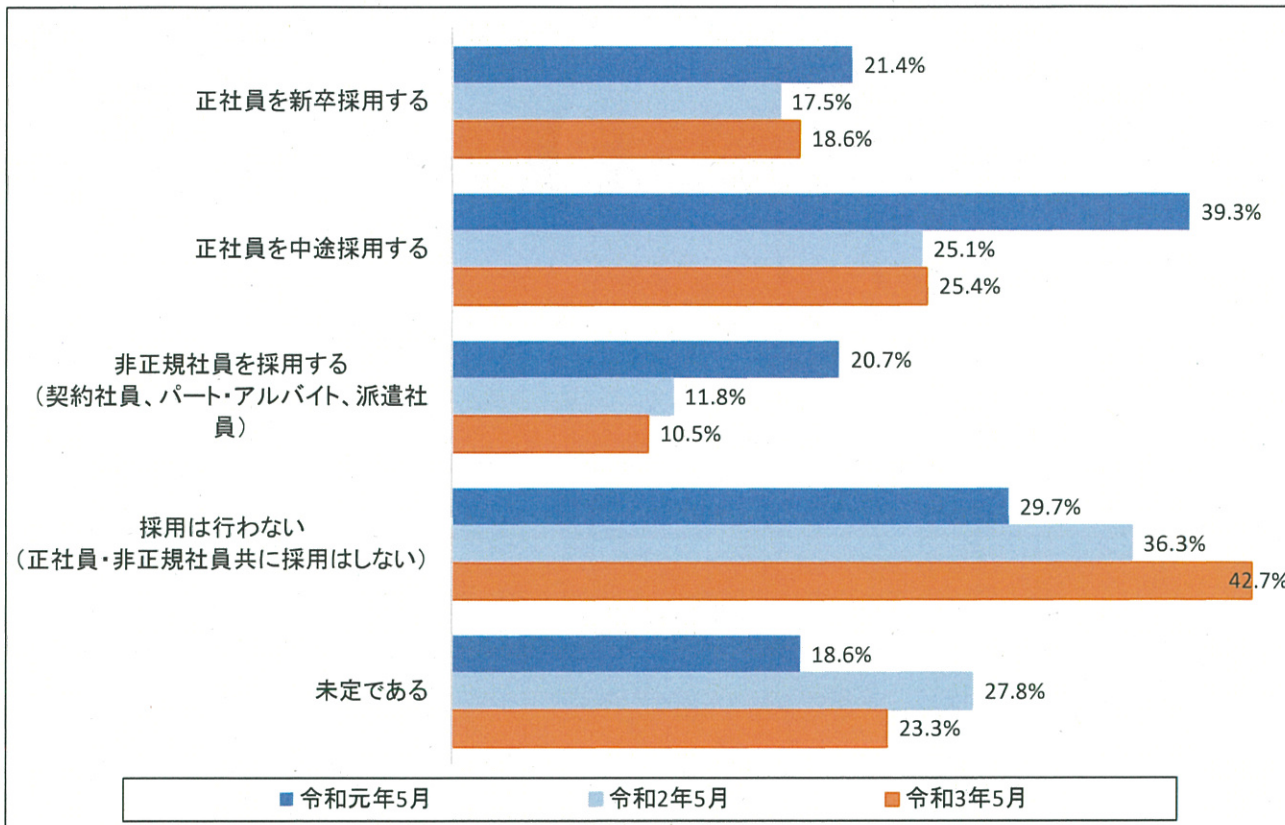
「新型コロナウイルス感染症の影響について」
 (1) 自社への影響の有無



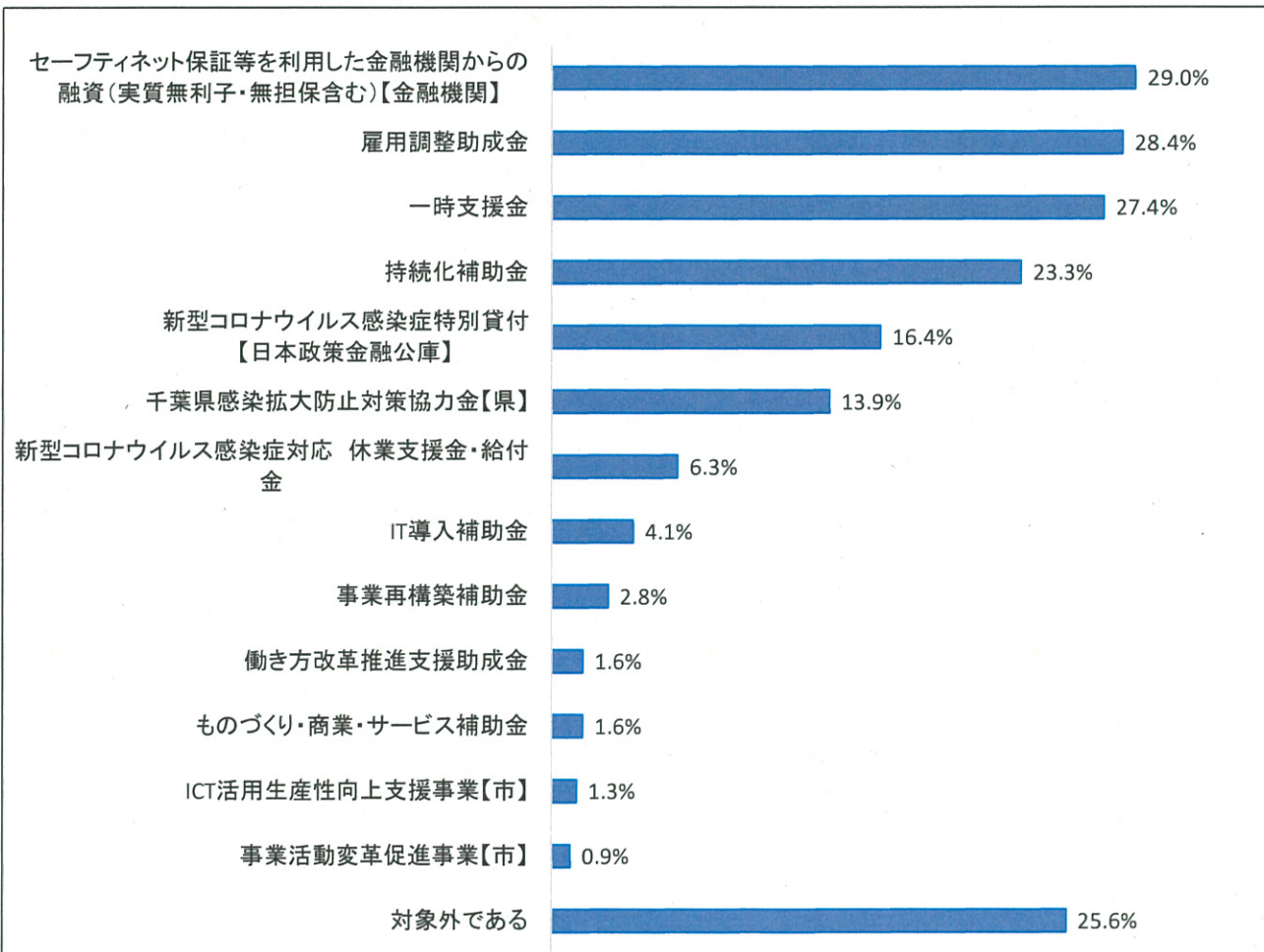
(2) 「設問(1)」で「① マイナスの影響あり」と回答した企業に伺った。 ※5月の売上の影響(前年同月比)



(3) 令和3年度の採用について【複数回答可】



(4) 活用した(又は活用予定の)新型コロナウイルス感染症に関する各種支援策について【複数回答可】



“前年同月比”D1値の推移

(1)業況

業種	25年5月		11月		27年2月		5月		11月		28年2月		5月		11月		29年2月		5月		11月		30年2月		5月		11月		2年2月		5月		11月		3年2月		5月	
	8月	5月	8月	5月	8月	5月	8月	5月	8月	5月	8月	5月	8月	5月	8月	5月	8月	5月	8月	5月	8月	5月	8月	5月	8月	5月	8月	5月	8月	5月	8月	5月	8月	5月	8月	5月	8月	5月
全産業	-14.9	-12.1	-5.3	-2.9	-12.5	-9.9	-16.5	-13.5	-23.2	-20.5	-19.4	-21.2	-19.4	-11.3	-11.3	-10.8	-9.4	-11.0	-11.0	-11.5	-11.5	-11.5	-10.8	-9.4	-9.4	-11.0	-11.0	-11.5	-11.5	-11.5	-10.8	-9.4	-9.4	-11.0	-11.0	-11.5	-11.5	-11.5
建設	1.2	6.1	26.8	20.0	4.9	-8.4	-18.6	-15.6	-3.5	-9.9	-8.3	-7.2	-21.9	-24.4	-22.0	-24.4	-22.0	-24.4	-22.0	-24.4	-22.0	-24.4	-22.0	-24.4	-22.0	-24.4	-22.0	-24.4	-22.0	-24.4	-22.0	-24.4	-22.0	-24.4	-22.0	-24.4	-22.0	-24.4
製造	-17.3	-10.7	-10.8	1.2	-6.8	-12.2	-12.8	-17.6	-17.9	-8.3	-13.1	-14.0	-16.5	-23.2	-13.9	3.8	3.8	1.2	5.0	3.6	6.0	5.8	5.8	1.2	5.0	3.6	6.0	5.8	5.8	1.2	5.0	3.6	6.0	5.8	5.8	1.2	5.0	3.6
卸売	-20.0	-23.4	-15.6	-10.0	-14.0	-19.5	-25.9	-26.2	-19.2	-30.1	-37.1	-33.3	-20.0	-26.5	-26.3	-28.9	-23.5	-26.5	-11.8	-14.2	-9.5	-10.3	-17.3	-29.5	-22.3	-30.7	-34.1	-32.2	-76.4	-58.9	-68.8	-54.4	-37.5	-14.8	-40.5	-32.9		
小売	-35.1	-27.5	-31.2	-24.3	-41.3	-41.5	-40.8	-32.4	-26.0	-31.7	-39.8	-34.8	-28.4	-22.1	-25.0	-18.3	-16.9	-29.5	-21.0	-25.3	-24.4	-17.5	-10.4	-3.8	-1.2	-8.2	-10.7	-14.1	-9.9	-63.0	-57.8	-34.5	-36.5	-21.8				
サービス	-4.3	-6.4	2.6	-4.7	-7.5	-1.1	-18.8	-13.0	-1.3	-8.9	-10.4	-10.6	-19.5	-13.4	-7.6	-17.3	-2.4	-8.5	-13.9	-11.1	-11.6	-10.4	-3.8	-1.2	-8.2	-10.7	-14.1	-9.9	-63.0	-57.8	-34.5	-36.5	-21.8					

(2)売上

業種	25年5月		11月		27年2月		5月		11月		28年2月		5月		11月		29年2月		5月		11月		30年2月		5月		11月		2年2月		5月		11月		3年2月		5月	
	8月	5月	8月	5月	8月	5月	8月	5月	8月	5月	8月	5月	8月	5月	8月	5月	8月	5月	8月	5月	8月	5月	8月	5月	8月	5月	8月	5月	8月	5月	8月	5月	8月	5月	8月	5月	8月	5月
全産業	-15.9	-9.5	-4.0	1.5	-2.2	-6.4	-8.1	-17.1	-9.4	-11.7	-16.5	-18.1	-24.4	-10.6	-12.0	-6.4	-9.1	-7.9	-3.4	-5.8	-12.1	-9.6	-14.1	-16.9	-13.5	-64.0	-45.2	-64.6	-43.1	-43.0	-43.1	-43.0	-43.1	-43.0				
建設	-6.9	-6.1	19.0	15.4	11.1	-1.2	-5.9	-7.8	-5.8	-6.2	-10.6	-1.2	-31.7	-18.8	-16.2	-24.0	0.0	8.3	7.4	7.2	4.7	5.7	6.2	11.4	11.7	-31.4	-70.7	-63.7	-53.2	-34.5	-14.8	-14.8	-14.8	-14.8				
製造	-12.5	-4.3	2.4	2.4	9.1	0.0	-2.3	-17.3	-16.7	-7.2	-15.5	-15.1	-18.8	-6.2	-4.0	0.0	8.3	8.3	14.1	14.1	7.2	4.7	5.7	6.2	11.4	11.7	-31.4	-70.7	-63.7	-53.2	-34.5	-14.8	-14.8					
卸売	-20.0	-15.8	-22.1	3.8	1.2	-6.9	-3.6	-20.3	-9.6	-17.9	-21.3	-28.2	-23.7	-20.5	-24.0	-27.3	-34.2	-20.5	-17.1	-16.7	-2.3	-5.7	-10.0	-12.6	-4.9	-19.3	-33.7	-15.5	-76.1	-60.8	-63.5	-70.4	-30.4	-30.4				
小売	-31.0	-13.7	-25.9	-24.0	-33.3	-26.5	-29.6	-34.7	-14.8	-27.5	-30.1	-31.9	-30.9	-25.7	-18.7	-23.1	-7.3	-23.1	-16.1	-19.3	-14.6	-5.0	-30.3	-37.2	-30.4	-28.2	-44.1	-20.0	-57.0	-53.7	-32.5	-50.0	-30.1	-30.1				
サービス	-9.9	-8.8	4.0	7.1	-1.3	2.4	0.0	-8.2	0.0	0.0	-6.5	-17.1	-17.1	-4.8	-6.3	-4.9	-1.2	-6.0	1.2	-14.6	-12.8	-7.7	1.2	-8.7	-3.5	-6.0	-64.8	-54.9	-38.5	-41.5	-20.8	-20.8						

(3)採算

業種	25年5月		11月		27年2月		5月		11月		28年2月		5月		11月		29年2月		5月		11月		30年2月		5月		11月		2年2月		5月		11月		3年2月		5月	
	8月	5月	8月	5月	8月	5月	8月	5月	8月	5月	8月	5月	8月	5月	8月	5月	8月	5月	8月	5月	8月	5月	8月	5月	8月	5月	8月	5月	8月	5月	8月	5月	8月	5月	8月	5月	8月	5月
全産業	-22.2	-20.2	-15.8	-15.7	-22.2	-24.1	-24.1	-22.2	-18.2	-17.6	-20.4	-17.9	-20.0	-14.6	-15.0	-16.5	-15.7	-11.2	-13.5	-14.1	-19.9	-20.7	-23.2	-23.7	-24.7	-63.1	-53.0	-39.4	-43.0	-43.0	-43.0	-43.1	-43.0					
建設	-9.5	-9.8	6.0	-1.2	3.7	-20.5	-15.3	-15.5	-11.5	-11.1	-15.0	-13.3	-26.8	-15.8	-18.2	-16.1	-18.8	-16.7	-28.7	-9.3	-16.6	-17.3	-16.6	-24.4	-12.3	-9.8	-44.3	-38.7	-32.6	-34.5	-23.0	-23.0						
製造	-20.7	-23.7	-19.3	-13.2	-4.5	-17.3	-19.0	-21.4	-21.4	-15.3	-15.5	-7.1	-15.3	-9.7	-26.5	-18.5	-7.2	5.0	1.2	-10.8	2.3	-6.8	0.0	-13.9	-20.0	-15.2	-20.9	-36.0	-73.0	-61.3	-41.8	-30.0	-14.8					
卸売	-23.8	-38.4	-26.4	-18.8	-23.2	-26.5	-31.0	-25.0	-18.3	-22.6	-38.3	-24.4	-25.0	-27.7	-26.5	-19.8	-21.4	-24.1	-19.7	-15.5	-10.6	-11.7	-16.3	-21.8	-21.9	-32.0	-36.5	-28.5	-75.7	-62.8	-55.4	-63.0	-32.9					
小売	-44.6	-24.0	-35.0	-34.7	-39.7	-36.2	-39.6	-36.0	-27.2	-23.5	-28.7	-29.0	-18.8	-18.2	-18.8	-24.4	-11.1	-23.4	-22.3	-20.4	-19.5	-25.0	-32.9	-43.6	-36.7	-35.9	-41.3	-30.0	-58.5	-46.9	-36.2	-51.3	-35.6					
サービス	-14.1	-5.1	-11.8	-12.9	-16.5	-11.7	-16.5	-15.1	-12.6	-15.4	-5.2	-18.4	-14.6	-14.6	-12.5	-14.8	-13.4	-14.1	-22.2	-12.7	-14.1	-2.5	-3.7	-9.3	-7.7	-18.6	-63.5	-57.8	-32.9	-36.6	-15.6							

(4)仕入単価

業種	25年5月		11月		27年2月		5月		11月		28年2月		5月		11月		29年2月		5月		11月		30年2月		5月		11月		2年2月		5月		11月		3年2月		5月	
	8月	5月	8月	5月	8月	5月	8月	5月	8月	5月	8月	5月	8月	5月	8月	5月	8月	5月	8月	5月	8月	5月	8月	5月	8月	5月	8月	5月	8月	5月	8月	5月	8月	5月	8月	5月	8月	5月
全産業	-41.2	-46.3	-44.1	-52.9	-56.4	-53.5	-54.7	-46.9	-49.5	-39.8	-32.0	-24.3	-27.6	-33.6	-33.4	-48.4	-46.1	-48.4	-46.1	-48.4	-46.1	-48.4	-46.1	-48.4	-46.1	-48.4	-46.1	-48.4	-46.1	-48.4	-46.1	-48.4	-46.1	-48.4	-46.1	-48.4		
建設	-45.9	-52.4	-46.4	-62.4	-60.5	-67.1	-67.1	-57.8	-49.4	-40.8	-34.9	-28.9	-34.1	-32.5	-41.7	-37.5	-57.9	-58.2	-46.3	-54.3	-55.8	-57.0	-64.2	-43.8	-31.5	-22.7	-27.4	-26.3	-47.4	-26.3	-47.4	-26.3	-47.4	-26.3	-47.4			
製造	-51.7	-55.9	-47.0	-59.0	-62.5	-54.9	-55.3	-43.5	-61.2	-48.2	-37.4	-22.1	-16.5	-25.6	-24.0	-31.3	-52.4	-33.7	-38.3	-54.8	-49.4	-54.5	-57.5	-60.7	-58.3	-55.1	-54.1	-39.5	-27.4	-26.5	0.0	9.9	10.0					
卸売	-47.6	-57.7	-44.8	-65.4	-61.6	-56.3	-58.8	-53.5	-48.2	-45.3	-35.8	-24.3	-26.3	-25.3	-30.0	-33.4	-45.9	-39.1	-43.4	-51.2	-54.8	-48.1	-45.6	-53.7	-46.7	-47.7	-36.0	-19.7	-34.2	-32.1	-48.7	-32.1	-48.7					
小売	-29.7	-33.8	-42.1	-40.5	-55.8	-50.6	-47.5	-45.3	-43.2	-41.9	-21.9	-30.5	-40.8	-21.8	-20.0	-30.8	-22.9	-32.0	-43.2	-48.2	-41.4	-48.7	-47.4	-42.9	-38.0	-32.1	-46.8	-38.2	-12.5	-32.5	-37.2	-22.1	-38.8					
サービス	-26.4	-29.3	-40.0	-35.8	-39.5	-40.2	-43.9	-33.3	-44.8	-21.0	-28.4	-15.5	-21.0	-28.2	-20.0	-26.9	-31.2	-28.2	-20.0	-28.9	-29.5	-26.8	-23.7	-27.3	-30.8	-26.2	-25.4	-27.0	-5.7	-19.4	-10.4	-7.6	-12.0					

(5)従業員

業種	25年5月		11月		27年2月		5月		11月		28年2月		5月		11月		29年2月		5月		11月		30年2月		5月		11月		2年2月		5月		11月		3年2月		5月	
	8月	5月	8月	5月	8月	5月	8月	5月	8月	5月	8月	5月	8月	5月	8月	5月	8月	5月	8月	5月	8月	5月	8月	5月	8月	5月	8月	5月	8月	5月	8月	5月	8月	5月	8月	5月	8月	5月
全産業	2.5	7.8	16.0	16.3	17.6	20.9	20.1	21.0	16.4	16.0	19.3	15.3	14.5	20.0	21.5	26.4	28.1	28.9	26.3	32.2	29.5	26.7	26.2	27.0	26.0	1.4	9.0	9.3	7.7	9.3	9.3							
建設	8.1	17.1	35.4	27.0	29.6	32.5	32.5	37.8	24.1	28.4	26.8	24.1	18.3	24.4	20.7	29.3	32.5	32.5	26.9	45.1	35.8	38.5	38.0	39.0	18.3	19.1	23.8	17.3	17.9	17.9								
製造	5.7	6.4	7.3	18.1	12.5	12.3	18.6	19.0	12.9	16.9	21.9	5.9	9.4	13.9	19.0	25.0	27.8	31.4	24.7	31.3	26.9	27.4	22.8	25.6	18.6	-2.6	2.5	0.0	9.9	10.0								
卸売	-4.8	5.2	6.6	11.6	10.6	20.9	14.2	12.2	8.5	6.0	8.7	7.8	7.6	2.4	1.3	5.2	17.8	20.2	16.3	16.2	16.6	18.5	14.															

(1)業況

Table showing economic indicators (全産業, 建設, 製造, 卸売, 小売, サービス) with monthly and quarterly data from May 2014 to May 2015.

(2)売上

Table showing sales indicators (全産業, 建設, 製造, 卸売, 小売, サービス) with monthly and quarterly data from May 2014 to May 2015.

(3)採算

Table showing profitability indicators (全産業, 建設, 製造, 卸売, 小売, サービス) with monthly and quarterly data from May 2014 to May 2015.

(4)仕入単価

Table showing unit price indicators (全産業, 建設, 製造, 卸売, 小売, サービス) with monthly and quarterly data from May 2014 to May 2015.

(5)従業員

Table showing employment indicators (全産業, 建設, 製造, 卸売, 小売, サービス) with monthly and quarterly data from May 2014 to May 2015.

(6)資金繰り

Table showing cash flow indicators (全産業, 建設, 製造, 卸売, 小売, サービス) with monthly and quarterly data from May 2014 to May 2015.



【お問い合わせ】
千葉商工会議所
企画経営部 企画広報課
〒260-0013
千葉市中央区中央 2-5-1
TEL: (043) 227-4103
Mail: chosa@chiba-cci.or.jp

